

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校
野球部OB会

我が母校我が野球部

大西 利昭

(高6回)



四年程前の夏であったと思う。神戸グリーンスタジアムへ、ブルーウェーブの試合を見に行った時、試合前の通路で一人の青年に声をかけられた。こちらにも、どこかで見たことがあるなア……と思っていたが、名前を聞いてすぐに思い出したのは、二十五年振りに準決勝進出とさわがれた、昭和五十一年のチームで、サードを守り、チャンスに良く打っていた、弥左君であった。

聞けば、大阪市大を卒業して、オリックスへ就職し今、球団へ出向しているとのこと。すぐに話題は母校野球部の現状になり、球団の使い古しのボールを送ってやれやと云っておいが……。

私は昭和二十九年の卒業だが、学生時代はともかく、社会人になってからは予選も全然見に行かず、御無沙汰していたが、あの年は、高倉と云うエースが良いから面白いで……と小司君に聞いていたもので、一回戦から藤井寺へ行き、準決勝で興国には負けたが、胸のすく思いをさせて貰ったものだ。二十才以上も歳の違う後輩に逢って、名前を聞いてすぐに判ったのは、毎試合、スタンドから声をかしていたからに違いない。強かったチームは、いつまでも記憶に残るものだなアと痛感した次第である。さて、二十五年振りと言ふ昭和二十五年は、吉川さん、加藤さんの二枚看板で準決勝勝ち進み、惜しくも、西野田工業に負けた年であった。中学三年の私は毎月、野球部の練習や試合で、茨高(當時は三島野高校と称していたが)の試合は一度も見に行けなかったが、来春、茨高へ行くと、三年間で絶対一回は甲子園へ行ける、何が何でも茨高へと、憧れたものであった。

當時は、まだ戦後の混乱期で、

占領軍の学制革命とかで、養精中学は、茨木川をはさんで、東と西に分け東は茨高、西は春高と決まっていた、私の様に西から茨高へ行つたのは、男子では確か三、四名であったと思う。中学の担任の反対を押して受験し、入った茨高(と云うより野球部)であったから嬉しくて、毎日バッティング・キャッチャーや、ブルペンのかべをやらされていたが、授業中は勉強そっちのけで、ボールを縫っていたり(この頃の「ボール事情」は前年号で一年先輩の鎌田さんが書いておられたが)家ではバットを牛骨でこすったり、本当に野球漬けの毎日であった。

三時頃授業が終ると、米沢さんが部室で待つておられて「更衣は三分」とシリを叩かれ、私はキャッチャーの補欠だったから、左脇にプロテクターとレガーズをかかえ、右手でトンボを持って南庭へと走ったものだ。ライトが堤防で、茨の垣根が植っており、そこへボールが飛び込むと、ボールはなかなか見つからないし、泣きたくなくなる気持ちになったが、米沢さんはボールのツラを良く覚えておられて「あそこへ行ったら、こんなこんなボールや、一回さがしてこい」なんて調子で、ズバリ当てられたのには、驚いたものだ。

當時はサマータイムで、八時頃迄は明るいから守備練習で、うす

暗くなってボールが見えなくなるのとベースランニングになり、私のように家の近い者でも、毎日帰るのは九時頃であった。

前年、準決勝までいったから、米沢監督も気分が入っていたし、(最後の年でもあったので……)バント練習で打順通りに送りバント、スクイズバントをやり、一人失敗すると、又、一番からやり直し九番迄成功して初めて終了と云う「米沢野球」は、守備練習も一緒にファーストがポロすると又、サードからが、延々と続いたものであった。帰り道のうどん屋で「お前、きつね(うどん)一杯と素うどん二杯と、どっちがええ」と米沢さん「素うどん二杯の方がええです」と、よく御馳走になったものだ。

今にして思えば、私の茨高野球部の三年間は、旧制中学へ入学された方々が、最上級生であったこの年迄が、体育会で、それ以後は同好会であったように思う。

翌年からは、進学校として学校側のしめつけも厳しくなり、野球部のように長時間の練習をする部はきらわれて、退部者が出て、チーム編成に困るようになったり、毎年、予選前だけ大学生が監督をする府立高校のパターンも、この頃から生れたと思う。

昔話はこれ位にして、現代に戻ると、金属バットになり、ウェー・ト・トレで腕力をつけて、マシンで充分打ち込む近頃は、強弱の

レベルが違いすぎるように思う。現に春の府予選をみても20対4とか、32対1とか33対0とかのスコアが有り、五回コールドでこの点差だから、その内容たるやそれ恐ろしい。よく怪我が出ないものとも思う。

専任の監督が育てた選手が大学生になり、母校へ投げに來て恩返しをするようにならないとチームは強くないと思う。

今はどんな状況ですか？大学生のOBが予選前に大勢來てバッティングボールを投げて呉れるのですか？専任監督が居て、若いOBが來て、面倒を見てやらないと強くない。

毎年、そうして地盤を築いておいて、そこへ高倉君のような天才ピッチャーが入った年に、うまくいけばそこそこいけるのではないかとと思う。

今年は、グラウンドも無く、練習にも事欠くようですが、その分、試合を多く組んで、試合を練習にすれば良い。(ピッチャーが問題だと思うが……)

聞けば、部員は少ないが顧問の先生が熱心だとのこと。それが一番だと思えます。

健闘を祈ります。

現役大会前激励会

- (1) 日時 6月17日(土)午後6時より
(2) 場所 茨木高校久敬会館